

平成 25 年度 一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 第 1 回総会議事録

開催日時 : 平成 25 年 5 月 12 日 (日) 14 時 40 分から 15 時 30 分まで
場 所 : 奈良県立医科大学 臨床第 1 講義室
会 員 数 : 528 名 (5 月 11 日現在)
出 席 者 : 370 名 (当日出席者 87 名、委任状による出席者 283 名)
欠 席 者 : 158 名

I 仮議長挨拶

内池事務局長から議長選出が完了するまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

岡山副会長が、平成 25 年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会第 1 回総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

宗川会長から、早朝からの学会に引き続き総会出席に対するお礼があった。平成 24 年度の大きな報告事項は、法人移行の完了と長年の懸案であった奈良県臨床検査協議会の発足であり、本総会では法人移行の定款変更に伴う諸規程の修正議題もあり、各議案について十分な審議を願う挨拶があった。

IV 来賓の紹介

内池事務局長から本総会に出席頂いた顧問の松尾 収二先生、山中 亨名誉会員、山名 正夫名誉会員、外部監事岩本 みどり監事の紹介と出席のお礼が述べられた。また、長年当会より推薦していた山中 亨名誉会員が平成 25 年春の叙勲において、瑞宝双光賞を受章した旨、紹介があった。

V 来賓挨拶

来賓を代表して顧問の松尾 収二先生より、挨拶があった。第 30 回記念学会の発表を見て、奈良県技師会会員の確実なレベルアップが感じられた。また、日臨技においては役員の交代に伴い関係団体との協力姿勢が明確となり、各団体からの評価が改善しステータスが確実に上がっていることを大変うれしく思い、今後もできるだけの協力を惜しまないとのエールの言葉があった。

引き続き、瑞宝双光賞を受章した山中 亨名誉会員より、お礼の言葉があった。今回の受章は私個人のものではなく、奈臨技があり先輩達がいる、それを引き継ぐ会員の皆様がおられるお陰であり、そして会員の皆様の医療の現場での貢献が認められたことに他なりません。この栄えある名誉に恥じることはないよう心を引き締め、これからも精進したい。しかし、気掛かりな点の一つあり、先輩達を

差し置いて先に頂いた点が心苦しく、申し訳なく思っています。できるだけ早く正しい評価を頂けることを切望すると、挨拶があった。

VI 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、仮議長が松本 隆（県立五條病院）、岡田 亨（近畿大学医学部奈良病院）の2氏を提案し、拍手多数にて承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VII 議事

1. 総会役員を選出

松本議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、事務局から下記の提案があり、過半数を超える拍手多数を持って承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

上杉 一義（町立大淀病院）議事運営委員長、兼資格審査委員長

中山 みどり（県立奈良病院）

倉村 英二（天理よろづ相談所病院）

野村 真（済生会中和病院）

〔書記〕

胡内 久美子（県立奈良病院）

中谷 光良（弘仁会南和病院）

2. 総会成立の宣言

上杉資格審査委員長から、本日の出席者数 368 名（出席者 85 名、委任状出席者 283 名）で正会員数（528 名）の過半数を超えているため総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

1) 第 1 号議案：平成 24 年度事業経過報告について

岡田議長から、平成 24 年度事業経過報告について、一括報告後に承認を求めるとの説明後、下記の担当理事から議案書に基づき説明があった。

審議に先立ち内池事務局長から総会議案書の誤記等、一部訂正のお願いとお詫びがあった。

(1) 総括：宗川会長

昨年度から精度管理事業が日臨技システムの利用開始により、申し込み・結果入力・データ確認が行え、効率化を図った。また、調査結果報告書をパスワード管理のもと奈臨技ホームページからダウンロードできるように利便性に配慮した。平成 24 年度は長年の懸案であった奈良県臨床検査協議会の

発足ができた。目的は奈良県下の医療施設での検査データの保証と有効利用を積極的に進めるものであり、技師会が中心となって活動したいと考えている。その他、学術活動は例年通り活発に実施しており、公益事業である公開講演会も参加者が400名を超える盛況ぶりであった。しかし、福利厚生で行われている親睦行事への参加が少なく、技師会の結束を高めるためにも積極的な参加のお願いを含め、報告があった。

(2) 事務局総務部：内池理事

議案書に基づき要旨が説明された。定款に基づく会議として予算総会、決算総会、さらに通常理事会を開催した。庶務部会では奈臨技ニュース等の会員への配布物を事務局から一括して業者便とメール便を用いての配付で経費削減と公平な情報伝達に心掛けた。奈臨技ホームページではコンテンツの拡充に心掛け、毎日のアクセスが平均79人と多くの訪問者があったこと、携帯端末用ホームページ作成を継続する。また、法人移行手続きは完了したが、新会計基準に対応するための処理は継続中である旨、報告があった。

(3) 事務局経理部：内間理事

議案書に基づき財政の適正化について要旨が説明された。また、新法人制度への対応として、会計ソフトの導入を行い、処理を開始ししている旨、説明があった。追加事項は特になし。

(4) 組織法規部：延命理事

議案書に基づき会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会の開催、法人移行の定款改訂に伴う諸規程の見直し作業を実施した旨、説明があった。追加事項は特になし。

(5) 学術部：梅木理事

議案書に基づき要旨が説明された。なお、奈良県医学検査学会における会長賞・学術奨励賞の設置と、会誌「まほろば」への論文投稿・日臨技「医学検査」への日臨技論文推薦を行った。また、精度管理事業の運営を日臨技システム利用にて、データの集計・解析が効率化されたとの報告があった。

(6) 渉外部：吉村理事

議案書に基づき公開講演会の開催について要旨の説明があった。公開講演会では初めて県民参加者が400名を超えた。今後も、県民の健康維持・増進に繋がる公演会の企画を開拓する旨、説明があった。追加事項は特になし。

(7) 地域保険事業部：横山理事

議案書に基づき市民対象の医療や公衆衛生の啓蒙活動、日本糖尿病協会奈良県支部と連携した活動の実施について説明があった。追加事項は特になし。

(8) 地域保険事業部 公衆衛生部門：西岡理事

議案書に基づきミニ臨床検査展を併設したHIV感染予防啓発事業、乳がん撲滅啓発事業の開催と、昨年から引き続き桜井市から要請があった市民健康啓

発事業に協力した旨、説明があった。追加事項は特になし。

(9) 組織法規部：延命理事

議案書に基づき会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会の開催、さらに一般社団法人移行申請と手続きの完了について説明があった。追加事項は特になし。

(10) 福利厚生部：苗加理事

議案書に基づき技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、同好会活動の助成について説明があった。また、親睦事業の参加が少ないため積極的に利用して欲しいとの要請があった。追加事項は特になし。

(11) 広報部：岸森理事

議案書に基づき会誌、ニュースの発行についての説明があった。追加事項は特になし。

(12) 地区担当部：上杉理事

議案書に基づき執行部と会員および会員施設との連絡調整についての説明があった。追加事項特になし。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、岡田議長から第 1 号議案について質問、意見を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第 2 号議案：平成 24 年度決算について

岡田議長は、平成 24 年度決算について、内間理事に説明を求めた。

平成 24 年度決算：内間理事

議案書に基づき決算の説明があった。追加事項特になし。

平成 24 年度決算について説明を受けたのち、岡田議長から第 2 号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

3) 第 3 号議案：平成 24 年度監査報告について。

岡田議長は平成 24 年度監査報告を求めた。

平成 23 年度監査報告：山口監事

議案書に基づき監査報告があった。追加事項特になし。

以上、岡田議長から 3 号議案について質問、意見を求めたところ、質疑なく、岡田議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認さ

れた旨、宣告した。

4) 第4号議案：諸規程改訂について

岡田議長は諸規程改訂について、説明を求めた。

諸規程改訂について：延命理事

議案書に基づき新定款の第7条における会費について「会員又は賛助会員は、総会において別に定めた会費の支払い義務を負う」との記載から、会費規程を新たに設ける必要が生じた。これに伴い、従来組織運営規程に記載されていた第5章補足（会費および入会金）を廃止するとの説明があった。さらに、法人移行に伴う会の名称変更から、諸規程における修正と、定款変更に伴う諸規程の条文参照番号の変更を行う提案の説明があった。

以上、岡田議長から第4号議案について一括して質問、意見を求めたところ、山名会員から第6条の文言について、「第2条 第3条の額・・・」とあるが、第2条は不要であり、「会員の会費は、第3条の額・・・」とするのが良い。との修正意見があり、延命理事から了解する旨返答があった。決議は反対者なく、一括して拍手にて実施し、出席者全員の拍手をもって承認された旨、宣告した。

5) 第5号議案：顧問および役員推薦委員の交代について

岡田議長は、事務局に顧問および役員推薦委員の交代の提案について、説明を求めた。

内池事務局長から、議案書に従い新たに中村 文彦先生（天理よろづ相談所病院 臨床検査部部長）を顧問にお願いした件、岡本 康幸先生の顧問辞任における後任の山崎 正晴先生（奈良県立医科大学 准教授）を理事会にて承認した件について報告があり、了承のお願いがあった。

また、役員推薦委員である中山 章文会員（奈良県立医科大学附属病院）の退職に伴い、泉 昭彦会員（町立大淀病院）に後任を依頼する提案があった。岡田議長から第5号議案について一括して質問、意見を求めたところ、質疑なく、決議は反対者なく、一括して拍手にて実施し、出席者全員の拍手をもって承認された旨、宣告した。

6) 第6号議案：一般提出議題について

岡田議長は、事務局に一般提出議題の提案を求めた。

内池事務局長から、本来総会10日前までに事務局に届いた一般提出議題はなしと、報告があった。

岡田議長より、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、執行部の追加動議の有無を確認するもなく一般提出議題はなしと宣告した。

その他、質問等なく、岡田議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことを宣告した。

VII 総会役員及び書記の解任

岡田議長から総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

VIII 議長挨拶

松本議長から議事進行の協力に対して謝意が述べられた後、自らを解任する旨、宣告した。

IX 閉会の辞

今田副会長から一般社団法人奈良県臨床検査技師会平成 25 年度第 1 回総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

平成 25 年 5 月 12 日

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

会 長 宗川 義嗣

監 事 山口 正悟

監 事 道本 実保

外 部 監 事 岩本 みどり